

【競技者・監督注意事項】

1. 競技規則

この大会に適用する規則は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項、競技者注意事項及び大会申し合わせ事項を適用する。

なお、抗議については所定の用紙に10,000円を預託して監督が審判長に提出すること。手続きは正式アナウンス後30分以内の行うこと。

2. 練習場所

競技場内の開放時刻は7時30分～8時50分とする。それ以外は競技場周辺（車などの安全確認）で行うこと。ジャベリックボール投げの練習は、競技場に引率後のピットでの練習のみとする。

また、競技時間中のバックストレート等の開放は行わない。

3. 開始式

開始式は9時00分から行う。選手はテントの前に着座して参加すること。

また、閉会式は行わない。

4. 招集時間

- ①トラック競技は競技開始時刻30分前開始、15分前完了とする（20分前にアスリートビブスを確認）。
- ②フィールド競技は競技開始時刻45分前開始、30分前完了とする（35分前にはアスリートビブスを確認し、競技役員の引率により競技場内で練習）。

5. 選手受付

- ①選手受付は100mスタート付近に設ける。あらかじめ掲示している用紙の自分のナンバーに選手自らで○印をする。
- ②招集完了時刻に、競技者係は出場する選手のナンバーカード番号、アスリートビブスの決着状態、スパイクのピン等を確認し、最終コールとする（9mm以下の平行ピンのみ使用可）。
- ③選手の招集完了後は、勝手に移動しないで係員の指示に従うこと。
- ④選手・監督以外の招集所への出入り及び代理の点呼は認めないが、事情がある場合はその限りではない。

6. 注意事項

- ①リレー競技のオーダー用紙は招集場所で1チーム1枚受け取り、招集完了時刻1時間前までに招集所の競技者係に提出する。
- ②アスリートビブスは、プログラム記載どおりの番号を胸と背に付けること。

7. スタート

- ①トラック競技における不正スタートは旧ルールを採用し、2回行った選手が失格となる。
- ②スタートはイングリッシュ・コールとする。
- ③5・6年生は必ずクラウチングスタートとする。
- ④3・4年生については、スタンディングスタートを認める。スターティングブロックの使用は任意とするが、使用しない場合は選手入場時に出発係に自ら申し出ること。

8. 80mハードル

台数	高さ	スタートから第1ハードルまでの距離	ハードル間の距離	最終ハードルからゴールまでの距離
9台	70cm	13m	7m	11m

9. 走高跳（練習は85cm行う）

男女（90）－1.00－1.05－1.10－1.15－1.20－1.25－1.30 以上3cmずつ

- ①走高跳は「はさみ跳び」とし、足裏以外で着地した場合は無効試技となる。
- ②順位決定のためのバーの上げ下げは2cmする。ただし、天候によって変更することもある。

10. ジャベリックボール投

- ①ジャベリックボール投は、大会主催者で準備した公認ジャベリックボールを使用する。
- ②ジャベリックボール投は、ボール本体を持ちオーバーハンドスローで行う（羽部分を持つことは禁止）。
- ③助走距離は15m以内とする。

11. フィールド競技全般

- ①フィールド競技の試技時間は1分とする。
- ②共通走幅跳と共通ジャベリックボール投は、3回の試技を行い順位を決定する。

12. リレー競技

- ①リレー競技のテイクオーバーゾーンは30mとし、必ずゾーン内で受け渡しすること。
- ②リレー競技のユニフォームは同一色のものを着用する。ただし、事情があつてそろわない場合は、事前に大会本部に届け出ること。
- ③バトンパスの際に使用するマーカーは各自準備し、使用後はチームで撤去する。マーカーは白の粘着性テープとし、5cm×40cm以内で、1か所だけの使用を認める。
- ④マーカーを付ける場合は、次のことに注意すること。
レーンの内側のラインに沿って付ける場合はラインに触れないようにする。
レーンの外側のラインに沿って付ける場合はラインに触れても良い。

13. その他

- ①トラックレースは、すべてタイムレースとする。
- ②600・800mはオープンレーンで行う。
- ③プログラムの選手が欠場した場合は、レーンを空けたまま競技を行う。
- ④3・4年生のスパイクシューズ使用については、発達段階を考慮して認めない。
- ⑤セパレートレーンで行われる種目については、フィニッシュ後も自分のレーンに沿って走ること（まっすぐ走って自分のレーンをはみ出すと、他選手と衝突の恐れがある）。
- ⑥6位以内に入賞した選手には賞状を用意する。正式アナウンスから30分後を目安に、正面入口付近に種目ごとにまとめておくので取りにくること。
- ⑦靴底の厚さは20mm以内とする。明らかに違反の疑いがある場合に計測するので、違反の心配がある場合は事前に申し出ること。
- ⑧競技場3か所にコーチングボックスを設置するので、フィールド競技中の指示はボックス内で行うこと（コーチングエリア外での選手への指示は助力とみなす場合がある）。
- ⑨競技場内での写真撮影（卒業アルバム用含む）は、大会本部に申し出て許可を得た場合以外は禁止する。撮影者は、許可を得ていることが明確に分かるようにすること。
- ⑩プログラムに氏名等の訂正がある場合及び欠場する場合は、8時20分までに大会本部に申し出ること。必要により、監督会議の際に訂正内容を周知する。